

平成 27 年度 第 4 回大会・研修委員会会議概要

日時：平成 28 年 2 月 10 日（水）13 時～17 時

会場：群馬県立文書館

出席者

石原委員長、森本副委員長、松尾委員、福原委員、櫛原委員、長谷川委員、藤谷委員、事務局（鈴木、小高、大谷）、オブザーバー（三重県：岸田氏）

1 開会

2 委員長あいさつ

- ・石原委員長より、秋田大会の企画・運営及び一年間の取り組みへの労いの挨拶がなされた。

3 報告事項

(1) 第 41 回全史料協全国（秋田）大会の総括、アンケート集計について

- ・事務局より共催・協力機関に送付した大会概要報告書及び大会参加者対象のアンケート集計結果を提示し、確認した。

※大会アンケートについては、従来、委員会内部の参考資料であったが、結果の概要をホームページに掲載し、情報を共有してはどうかとの意見が委員より出され、役員会に諮って認められれば掲載することとした。

(2) 平成 27 年度事業報告・決算見込について

- ・事務局より役員会用に提出した事業報告（案）・決算見込について説明した。

※大会冊子について残部を欠席会員全部に送るには数が足りず、更に郵送料も相当かかるため、今後は大会参加者数を前提に必要な部数を目処に印刷を行い、欠席会員向けにはその後ホームページで PDF 公開することを役員会で検討してもらう。

（三重大会以降は、冊子掲載レジュメを依頼する段階で、執筆者に許可を得るようにする。）

(3) 第 43 回全史料協全国大会の開催地候補について

- ・事務局より、三重大会の次の大会開催地(29 年度)について相模原市から内諾を得たとの会長事務局からの情報を紹介、交渉の経過を藤沢市の櫛原委員より補足説明してもらった。

4 協議事項

(1) 平成 28 年度事業計画・予算（案）について

- ・事務局より役員会に提出する H28 事業計画案・予算案の報告を行った。秋田大会と比

較し特に会場費等がかかるので、その分、27年度より多く計上した旨、説明した。

※協議の結果、会場賃借料、事業費賃金（大会当日アルバイト関係費）について、昨年より増額した形での予算要求を行うこととなった。

(2) 28年度委員体制について

- ・27年度大会研修委員名簿を参考資料として、28年度の委員体制について、意見交換した。

※前年度開催地として大仙市が委員を継続すること、29年度開催予定地の相模原市に委員を委嘱することが確認された。

(3) 第42回全史料協全国（三重）大会について

- ・事務局より全国（三重）大会会場本予約の資料報告、開催要項案、会場「フレンテみえ」（男女共同参画センター）について資料をもとに概説、三重の藤谷委員より詳細な状況説明がなされた。

<概略>

- ・秋田大会のような記念講演は予定していない。
- ・会場予約手続きは会長事務局に連絡をして進めてもらっている。
- ・交流会については、同じ施設内の文化会館第二ギャラリーにて開催予定。
- ・交流会後の駅までのバスについて、臨時便の利用を検討している。

※大会日程、視察場所、大会テーマ等について、委員からアイディアを出してもらったが、今後、アンケートの意見も参考にしながら、メーリングリスト等で検討し、次年度の会議で集約していくことを確認した。

ウ その他

ー特になしー

5 その他

- ・次回委員会予定について、場所は埼玉（未確定）で、時期としては5月の下旬（20日（金）か27日（金））で調整することとした。

（終了）